

調査のあらまし

1 調査の目的

県民の行政一般についての意識やさまざまな施策についての意見・要望を明らかにすることにより、今後の県政運営のための基礎資料とする。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 広島県全域
- (2) 調査対象 県内在住の満20歳以上の県民
- (3) 標本数 2,000
- | | | |
|---|---------|-------|
| } | 広島地方生活圏 | 1,000 |
| | 備後地方生活圏 | 600 |
| | 備北地方生活圏 | 400 |
- (4) 抽出方法 層化2段無作為抽出法
- (5) 調査方法 自記式郵送調査法(郵送による調査票の配布と回収)
督促状1回発送
- (6) 調査時期 平成23年9月22日～平成23年10月18日
- (7) 調査機関 株式会社 アシスト

3 回収結果

区 分	標本数	有効回収数	有効回収率
広島地方生活圏	1,000	686	68.6%
備後地方生活圏	600	406	67.7%
備北地方生活圏	400	269	67.3%
計	2,000	1,361	68.1%

サンプル設計

- 1 母集団 広島県内の市町に居住する満20歳以上の県民
- 2 標本数 2,000
- 3 地点数 市部 91 地点
町部 9 地点 計 100 地点
- 4 抽出方法 層化2段無作為抽出法
- (1)層化 広島, 備後, 備北の3生活圏それぞれについて, 市町の規模により4グループ(人口10万人以上, 10万人未満, 1万人以上, 1万人未満)に分類し, 層とした。
(注)母集団は平成23年3月末日現在の各市町の住民基本台帳を基に推計したもの。
- (2)標本数の配分 3生活圏それぞれに与えられた標本数(広島1,000, 備後 600, 備北 400)を生活圏別に層化した各グループの規模の大きさにより, 比例配分した。
- (3)抽出
ア 第1次抽出単位となる調査地点として, 平成22年国勢調査時に設定された調査区(国勢調査区)を使用した。
イ 調査地点数については, 1調査地点あたりの標本数が20になるように, 各層に割り当てられた標本数から算出し決めた。
ウ 調査地点数の抽出は, 抽出地点数が2地点以上割り当てられた市町については, 次の式により抽出間隔を算出し, 等間隔抽出法で抽出した。

$$\left[\frac{\text{市町における国勢調査区分}}{\text{市町における調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right]$$

- エ 抽出に際して, 各層内における市町の配列順序は, 平成22年国勢調査における「市町村コード一覧」の配列順序に従った。
- オ 抽出調査地点における対象者の抽出は, 調査地点(町・丁目・街区・番地等を指定)内から, 選挙人名簿により等間隔抽出法で抽出した。
- カ 以上の作業の結果得られた生活圏別の標本数調査地点は次の通りである。

生活圏	市町規模	人口10万人以上の都市	人口10万人未満の都市	人口1万人以上の町	人口1万人未満の町	計
	広島地方生活圏	推定母集団数	1,374,425	98,658	110,837	13,848
標本数		780	80	100	40	1,000
調査地点数		39	4	5	2	50
備後地方生活圏	推定母集団数	581,834	36,453	24,644	0	642,931
	標本数	520	40	40	0	600
	調査地点数	26	2	2	0	30
備北地方生活圏	推定母集団数	0	81,474	0	0	81,474
	標本数	0	400	0	0	400
	調査地点数	0	20	0	0	20
計	推定母集団数	1,956,259	216,585	135,481	13,848	2,322,173
	標本数	1,300	520	140	40	2,000
	調査地点数	65	26	7	2	100

- 人口10万人以上の市 ・ ・ (広島) 広島市, 呉市, 東広島市, 廿日市市(備後) 三原市, 尾道市, 福山市
- 人口10万人未満の市 ・ ・ (広島) 竹原市, 大竹市, 安芸高田市, 江田島市(備後) 府中市(備北) 三次市, 庄原市
- 人口1万人以上の町 ・ ・ (広島) 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 北広島町(備後) 世羅町, 神石高原町
- 人口1万人未満の町 ・ ・ (広島) 安芸太田町, 大崎上島町

抽出調査地点数一覧

生活圏	抽出調査地点		標本数	生活圏	抽出調査地点		標本数	
広島地方生活圏	広島市	中区 (3地点)	60	備後地方生活圏	三原市	(4地点)	80	
		東区 (3地点)	60		尾道市	(5地点)	120	
		南区 (3地点)	60		福山市	(17地点)	320	
		西区 (4地点)	80		府中市	(2地点)	40	
		安佐南区 (5地点)	100		世羅郡世羅町	(1地点)	20	
		安佐北区 (3地点)	60		神石郡神石高原町	(1地点)	20	
		安芸区 (2地点)	40					
		佐伯区 (3地点)	60					
		小計	(26地点)		520			
		呉市	(6地点)		120			
		竹原市	(1地点)	20				
		大竹市	(1地点)	20		計	(30地点)	600
		東広島市	(4地点)	80	備北地方生活圏	三次市	(12地点)	240
		廿日市市	(3地点)	60		庄原市	(8地点)	160
		安芸高田市	(1地点)	20				
		江田島市	(1地点)	20				
		安芸郡府中町	(1地点)	20				
		海田町	(1地点)	20				
		熊野町	(1地点)	20				
		坂町	(1地点)	20				
		山県郡安芸太田町	(1地点)	20				
		北広島町	(1地点)	20				
		豊田郡大崎上島町	(1地点)	20		計	(20地点)	400
		計	(50地点)	1,000		合計	(100地点)	2,000

※調査票配布時点（平成23年9月）の市町

対象者の属性

区分		全 県		広島地方生活圏		備後地方生活圏		備北地方生活圏	
		実 数	比 率	実 数	比 率	実 数	比 率	実 数	比 率
全 県		1,361	100.0	686	100.0	406	100.0	269	100.0
性 別	男性	648	47.6	329	48.0	184	45.3	135	50.2
	女性	713	52.4	357	52.0	222	54.7	134	49.8
年 代 別	20～29歳	121	8.9	62	9.0	32	7.9	27	10.0
	30～39歳	178	13.1	95	13.8	51	12.6	32	11.9
	40～49歳	185	13.6	105	15.3	53	13.1	27	10.0
	50～59歳	219	16.1	100	14.6	75	18.5	44	16.4
	60～69歳	302	22.2	156	22.7	93	22.9	53	19.7
	70歳以上	356	26.2	168	24.5	102	25.1	86	32.0
性・年 代 別	男性 20～29歳	59	4.3	26	3.8	18	4.4	15	5.6
	30～39歳	88	6.5	47	6.9	21	5.2	20	7.4
	40～49歳	82	6.0	48	7.0	21	5.2	13	4.8
	50～59歳	99	7.3	47	6.9	28	6.9	24	8.9
	60～69歳	161	11.8	80	11.7	49	12.1	32	11.9
	70歳以上	159	11.7	81	11.8	47	11.6	31	11.5
	女性 20～29歳	62	4.6	36	5.2	14	3.4	12	4.5
	30～39歳	90	6.6	48	7.0	30	7.4	12	4.5
	40～49歳	103	7.6	57	8.3	32	7.9	14	5.2
	50～59歳	120	8.8	53	7.7	47	11.6	20	7.4
	60～69歳	141	10.4	76	11.1	44	10.8	21	7.8
	70歳以上	197	14.5	87	12.7	55	13.5	55	20.4
職 業 別	有業者(計)	729	53.6	364	53.1	213	52.5	152	56.5
	自営業主(農林水産業を含む)	94	6.9	41	6.0	31	7.6	22	8.2
	家族従業者	46	3.4	22	3.2	13	3.2	11	4.1
	会社などの役員	49	3.6	25	3.6	16	3.9	8	3.0
	正規の従業者・職員	347	25.5	173	25.2	92	22.7	82	30.5
	パート・アルバイト・派遣社員など	193	14.2	103	15.0	61	15.0	29	10.8
	無業者(計)	554	40.7	288	42.0	167	41.1	99	36.8
	主婦・主夫	226	16.6	124	18.1	69	17.0	33	12.3
	学生	21	1.5	14	2.0	4	1.0	3	1.1
	無職	307	22.6	150	21.9	94	23.2	63	23.4
	その他	64	4.7	29	4.2	21	5.2	14	5.2
	無回答	14	1.0	5	0.7	5	1.2	4	1.5

報告書の見方

- 1 結果は百分比で表示した。文中及び数表、グラフは小数点第2位を四捨五入したため、合計が100.0%に過不足することがある。
- 2 回答者数は、県全体での回答を求める場合、各生活圏の抽出率の差を調整するため、備北地方生活圏の抽出率を基準として次の方式によって算出した係数を回収数に乗じた加重数値である。

$$\text{①広島地方生活圏の係数} \cdot\cdot \frac{\text{備北の回収数 (269)}}{\text{備北の母集団数 (81,474)}} \times \frac{\text{広島之母集団数 (1,597,768)}}{\text{広島之回収数 (686)}} = \mathbf{7.69}$$

$$\text{②備後地方生活圏の係数} \cdot\cdot \frac{\text{備北の回収数 (269)}}{\text{備北之母集団数 (81,474)}} \times \frac{\text{備後之母集団数 (642,931)}}{\text{備後之回収数 (406)}} = \mathbf{5.23}$$

$$\text{③備北地方生活圏の係数} \cdot\cdot \mathbf{1.00}$$

- 質問文の末尾に(M. A.)とあるのは Multiple Answers の略で、回答者に2つ以上の回答を認めた質問であることを示している。